

# ラクダの文化誌

## アラブ家畜文化考

堀内 勝著 ▼文庫判・並製カバー・552頁・定価二、〇三五円



アラブ遊牧民はラクダをどう扱い、共に生きてきたのか。ラクダに関する膨大な知識を網羅し、ラクダとアラブ文化の実態を描き出す。

2024年9月刊行

### 【目次】

はじめに

- 第1章 アラブのラクダ観
- 第2章 名高いラクダ——アラブ種の名種、名産地
- 第3章 ラクダを崇める——サムード族伝説と神聖ラクダ
- 第4章 ラクダを記す——歴史に名高いラクダ
- 第5章 ラクダを叙す——ラクダの体の部位(1)
- 第6章 ラクダのコブ(瘤)について——ラクダの体の部位(2)
- 第7章 ラクダの蹄について——ラクダの体の部位(3)
- 第8章 ラクダが生きる——成長段階
- 第9章 ラクダが年とる——ラクダの年齢階梯
- 第10章 ラクダが群らがる——「群れ」考(1)
- 第11章 ラクダを数える、頭数——「群れ」考(2)
- 第12章 ラクダが鳴く(1)
- 第13章 ラクダが鳴く(2)——アラブの擬声音文化考(1) ラクダ以外の動物のオノマトペ
- 第14章 ラクダが運ぶ——駄用ラクダ——アラブの擬声音文化考(2) ラクダのオノマトペ
- 第15章 ラクダが引っ張る——牽引用ラクダ
- 第16章 ラクダに乗る——乗用ラクダ・旅用ラクダのこと

第17章 ラクダが歩く——距離単位、ラクダ日

第18章 ラクダが踊る——キャラバンソングについて

第19章 ラクダに据える——ラクダ鞍の考察

第20章 ラクダに掛ける、吊るす——運搬用荷具

第21章 ラクダで身をあがなう——血の代金とラクダ

第22章 ラクダで娶る——婚資について

第23章 ラクダで税を払う

第24章 ラクダを信じる——ラクダに関する俗信

引用・参照文献

おわりに

文庫版あとがき

### ◆著者略歴

堀内 勝(ほりうち まさる)

一九四二年六月山梨県甲府市生まれ。甲府第一高校卒業、東京外国語大学アラビア語科卒業、カイロ・アメリカ大学M.A.取得、同大学フェロー、中部大学国際関係学部教授、現在同大学名誉教授。アラブ・イスラム世界や遊牧民文化を中心に、言語人類学、民族誌、エスノサイエンス、口承文化・文芸を専門とする。著書『砂漠の文化』(教育社)、『ラクダの文化誌』(リポート)。八六年サントリー学芸賞。翻刻注解・校定編著『鷹の書』(取扱い)信州イスラーム勉強会。『ラクダの跡』(第三書館。訳書T.アル・ハキーム著、オリエントからの小鳥、河出書房新社、アル・ハリリー著『マカーマート』(三巻本、平凡社)など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法蔵館 定価 二、〇三五円	
堀内 勝著 【法蔵館文庫】	
ラクダの文化誌	
アラブ家畜文化考	
ISBN : 978-4-8318-2676-3 C0139	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

文化史・民族誌